

リスニング模試 第1回 解答

合計点

/100

問題 番号 (配点)	設問		解答 番号	正解	配点	自己 採点	問題 番号 (配点)	設問		解答 番号	正解	配点	自己 採点
第 1 問 (25)	A	1	1	②	4		第 4 問 (12)	A	18	18	①	4※	
		2	2	④	4				19	19	③		
		3	3	④	4				20	20	④		
		4	4	③	4				21	21	②		
	B	5	5	②	3				22	22	②	1	
		6	6	②	3				23	23	⑤	1	
		7	7	③	3				24	24	②	1	
第 2 問 (16)	8	8	②	4					25	25	①	1	
	9	9	③	4		B		26	26	④	4		
	10	10	①	4		第 5 問 (15)	27	27	④	1			
	11	11	③	4			28	28	①	1			
第 3 問 (18)	12	12	①	3			29	29	③	1			
	13	13	④	3			30	30	②	2※			
	14	14	③	3			31	31	④				
	15	15	②	3			32	32	②	2※			
	16	16	②	3			33	33	③				
	17	17	③	3			34	34	③	4			
(注) ※は、全部正解の場合のみ点を与える。								35	35	④	4		
第 6 問 (14)	A	36	36	①	3		B	38	38	②	4		
		37	37	①	3			39	39	②	4		

	出題内容	難易度	
		大問別	全体
第1問 A	短い発話の聞き取り (英文のみ)	標準	標準
第1問 B	短い発話の聞き取り (イラスト選択)	標準	
第2問	短い対話の聞き取り (イラスト選択)	標準	
第3問	短い対話の聞き取り (英文のみ)	標準	
第4問 A	指示・説明の聞き取り (グラフ・料金表の穴埋め)	標準	
第4問 B	複数の説明の聞き取り (ゲストスピーカーの選択)	標準	
第5問	講義の聞き取り (有給休暇の現状とその効果)	やや難	
第6問 A	対話の聞き取り (特定のジェンダー向けのおもちゃについての対話)	やや難	
第6問 B	議論の聞き取り (司会・教授・聴衆による質疑応答)	標準	

第1問

A

問1 1 ②

スクリプト

I was going to call you, but I have been busy.

和訳

あなたに電話をするつもりでしたが、ずっと忙しかったです。

- ① The speaker called you once. (話者はあなたに一度電話した。)
 ② The speaker did not call you. (話者はあなたに電話をしなかった。)
 ③ The speaker was waiting for your call. (話者はあなたからの電話を待っていた。)
 ④ The speaker will be busy. (話者は忙しくなるだろう。)

電話するつもりだったが、忙しかったと言っている。つまり「電話できなかった」ということだから、②が正解。be going to doを過去形の肯定文で用いると過去から見た未来を表し、「…するつもりだったが、できなかった」と実現しなかったことを暗示することが多い。④はこれから忙しくなると述べているので不適切。

問2 2 ④

スクリプト

Will you lend me a calculator? I have a math test later.

和訳

計算機を貸してくれますか。あとで数学のテストがあるんです。

- ① The speaker did well on the math test. (話者は数学のテストでよい点を取った。)
 ② The speaker is looking for his calculator. (話者は自分の計算機を探している。)
 ③ The speaker needs his calculator back. (話者は自分の計算機を返してもらう必要がある。)
 ④ The speaker wants to borrow a calculator. (話者は計算機を借りたがっている。)

Will you ...? は「…してくれますか。」と相手に依頼する表現。Will you lend ...? (貸してくれますか。) と依頼しているということは、つまりI want to borrow (私は借りたい) ということなので、④が正解。

問3 3 ④

スクリプト

Rick told Yuri she won the dance contest. Because she had practiced hard, the news made her excited.

和訳

リックはユリに、彼女がダンスコンテストで優勝したことを伝えた。彼女は一生懸命に練習していたので、その知らせを聞いて心がはずんだ。

- ① Yuri danced with Rick. (ユリはリックと踊った。)
 ② Yuri made Rick a present. (ユリはリックにプレゼントを作ってあげた。)
 ③ Yuri told an exciting story. (ユリはわくわくする話をした。)
 ④ Yuri was happy to hear the news. (ユリはその知らせを聞いてうれしかった。)

the news made her excited (その知らせを聞いて彼女 (=ユリ) は心がはずんだ) という内容を、ユリを主語にして言い換えればYuri was happy to hear the news (ユリはその知らせを聞いてうれしかった) となるから、正解は④。ユリは話をした側ではないので③は不適切。

語句

◇ win 「～で勝利を得る；～で優勝する」

問4 4 ③

スクリプト

This elevator is out of service. There is another one over there, so let's use that one.

和訳

このエレベーターは調整中です。あちらにもう1つあるので、それを使いましょう。

- ① The speaker has just got off the elevator. (話者はエレベーターから降りたところだ。)
 ② The speaker is waiting for the elevator to be fixed. (話者はエレベーターが修理されるのを待っている。)
 ③ The speaker knows where there is a working elevator. (話者は運転中のエレベーターがどこにあるか知っている。)
 ④ The speaker wants to use the stairs. (話者は階段を使いたいと思っている。)

There is another one over thereのoneはelevatorを指す。つまり、話者はエレベーターがもう1つある場所を知っていると判断でき、③が正解となる。

語句

◇ out of service 「運転中止で；調整中で」

◇ ③ working 「動いている；運転中の」

B

問5 5 ②

スクリプト

The boy didn't bring anything to the party, and neither did the girl.

和訳

男の子はパーティーに何も持ってこなかったし、女の子も何も持ってこなかった。

選択肢にイラストが含まれる問題では、音声流れる前に各イラストの差異を確認しておくのがポイント。neither did the girlは、前の否定文を受けて「女の子もまた…しなかった」の意味なので、2人とも何も持っていない②が正解。

語句

◇ neither do S 「Sもまた…しない」

問6 6 ②

スクリプト

The airplane had taken off by the time she arrived at the gate.

和訳

彼女がゲートに到着するまでに、飛行機は離陸してしまっていた。

had taken offとarrivedという出来事の「順序」を正確に判断することがポイント。過去完了(had + 過去分詞)は過去のある時点より前に起こったことを表す。つまり、彼女がゲートに到着するよりも、離陸の方がより過去に起こったことなので、飛行機に乗り遅れた様子が描かれている②が正解となる。

語句

◇ by the time ... 「…するまでに」(接続詞の働き)

問7 7 ③

スクリプト

She had her brother answer her phone while she was cooking.

和訳

彼女は料理をしている間、兄〔弟〕に電話に出てもらった。

have O doは「Oに…させる〔してもらう〕」の意味だから、電話に出る〔出ようとする〕のは彼女自身ではなく兄〔弟〕であり、答えは③または④に絞られる。さらに、while she was cooking（彼女は料理をしている間）から、正解は③とわかる。

第2問

問8 8 ②

スクリプト

W: Is the girl standing in front of the classroom the new student?

M: No. She's at the back.

W: Oh, is it the one who's writing something on the board?

M: Uh-uh. It's the one looking out of the window.

和訳

女：教室の前の方に立っている女の子が、新しい子かしら？

男：そうじゃない。新しい子は後ろの方にいるよ。

女：ああ、黒板に何か書いている子のこと？

男：いや。窓から外を見ている子だよ。

問 Which one is the new student? (どの子が転入生か。)

男性の最初の発言から、転入生は教室の後ろの方にいることがわかるので、①か②に絞られる。男性の最後の発言から、窓から外を見ている子、すなわち②が正解とわかる。uh-uhは否定(=No)を表し、直前に女性が言及した「黒板に何か書いている子」が転入生ではないことを意味している。

問9 9 ③

スクリプト

M: How about these?

W: Hmm ..., I don't like round glasses.

M: Do you like these ones then?

W: Yeah. The ones with the thick frames look nice.

和訳

男：これはどうかな？

女：うーん、丸い眼鏡は好きじゃないわ。

男：じゃあ、これは好き？

女：ええ。太いフレームのがいい感じね。

問 Which glasses will the woman probably buy? (女性はおそらくどの眼鏡を買うだろうか。)

女性は最初の発言でI don't like round glasses. (丸い眼鏡は好きじゃないわ。)と言っているので、①と③に絞られる。2番目の発言でThe ones with the thick frames look nice. (太いフレームのがいい感じね。)と言っているので、③が正解となる。なお、眼鏡はglassesと複数形になるので、それを受ける代名詞もtheseやonesのように複数形になっていることに注意。

問10 10 ①

スクリプト

W: Grandma's new house has a nice front yard.
 M: And it has a big garage for her car and Grandpa's truck.
 W: I thought they wanted a three-story house.
 M: Yes, but they changed their minds.

和訳

女: おばあちゃんの新しい家は素敵な前庭があるのね。
 男: それに, おばあちゃんの車とおじいちゃんのトラックを入れる大きなガレージもあるよ。
 女: 3階建ての家を欲しがっているんだと思っていたわ。
 男: うん, でも気が変わったんだ。

問 Which house are the speakers talking about? (話者たちはどの家について話しているか。)

イラストは2階建てか3階建てか、ガレージに入る車の数が1台か2台か、が異なっている。男性の最初の発言からガレージには祖母の車と祖父のトラックの2台が入るとわかる。また女性の2番目の発言と男性の2番目の発言から「3階建ての家が欲しかったが、気が変わった」とわかるので、家は2階建てで、正解は①。

語句

◇ ~-story 「~階建ての」

問11 11 ③

スクリプト

M: I'd never seen a dinosaur like that.
 W: You mean the one with the long horn on its head?
 M: No. It had a round thing.
 W: Oh yeah, that one that looked a bit like a bird.

和訳

男: あんな恐竜は見たことがなかったよ。
 女: 頭に長い角がある恐竜のこと?
 男: いや。丸いものが付いていたよ。
 女: ああ, わかった, ちょっと鳥みたいに見える恐竜ね。

問 Which dinosaur are the speakers talking about? (話者たちはどの恐竜について話しているか。)

女性の発言に2回出てくるoneはいずれもdinosaurを指す。女性が「頭に長い角のある恐竜のこと?」と尋ねたのに対して、男性がNoと言っている。また、男性の2番目の発言「丸いものが付いていた」と女性の2番目の発言「鳥みたい」から③が正解となる。

第3問

問12 12 ①

スクリプト

W: How about March 20th?
 M: I know I usually request a Saturday, but in March, I'm busy every weekend. Do you have anything on Monday or Friday evenings?
 W: We have a 5:30 on Monday, March 8th. Hold on. We have a 5:00 on Friday that week.
 M: The 5:30 would be perfect.

和訳

女: 3月20日はどうですか?
 男: 確かにいつもは土曜日を希望しているのですが, 3月は毎週末とも忙しいんです。月曜日か金曜日の夕方の方のどこかではどうでしょうか?
 女: 3月8日の月曜日の5時半に空きがあります。お待ちください。その週の金曜日の5時が空いていますね。
 男: 5時半なら申し分ありません。

問 What day will the man's appointment be on? (男性の予約は何曜日になるか。)

- ① Monday (月曜日)
- ② Friday (金曜日)
- ③ Saturday (土曜日)
- ④ Sunday (日曜日)

週末は忙しいので月曜日か金曜日はどうかとたずねる男性に対して、女性は「月曜日の5時半」と「金曜日の5時」を提案しているので①か②に絞られる。そのうち男性は「5時半」の方を選んでいるので、曜日で言えば①の月曜日となる。

語句

- ◇ hold on 「電話を切らないで待つ」
- ◇ would 「…だろう」(控えめな推量・考え)
- ◇ perfect 「申し分のない; 最適な」

問13 13 ④

スクリプト

M: Hey, I called you earlier. Were you at the gym?

W: No. I took the subway to the library. I had my phone with me, but it didn't ring.

M: I called you like 30 minutes ago. Were you underground then?

W: Oh, that's probably why.

和訳

男：ねえ、さっき君に電話したんだよ。ジムにいたの？

女：いいえ。図書館へ地下鉄で行ったの。電話は持ってたけど、鳴らなかったわ。

男：30分くらい前に電話したんだ。その時は地下にいたの？

女：ああ、たぶんそのせい（で電話が鳴らなかったの）ね。

問 Where was the woman when the man called earlier? (男性が先ほど電話をかけた時女性はどこにいたか。)

- ① At the gym (ジム)
- ② At the library (図書館)
- ③ On the plane (飛行機)
- ④ On the subway (地下鉄)

女性が最後に言ったthat's probably whyのthatは直前の男性の発言の「地下にいた」ことを指しており、whyのあとには女性の最初の発言を受けてit (= my phone) didn't ringが省略されている。女性の最初の発言では、女性が地下鉄に乗って図書館に行ったことが述べられている。よって、30分ほど前に男性が電話をした時、女性は地下鉄に乗っていたから電話が鳴らなかったと推測できるので、④が正解となる。

語句

- ◇ like ～ 「～くらい」
- ◇ that's why ... 「それが…の理由だ：そういうわけで…だ」

問14 14 ③

スクリプト

W: Are you going to Paris to see your sister?

M: I was going to, but my sister moved to Berlin.

W: Are you going to Germany then?

M: No. She's coming back to Japan for the summer, so we'll probably go to South Korea or Singapore. ... Maybe not Korea because my sister's been there.

和訳

女: お姉さん〔妹さん〕に会いにパリへ行くの?

男: その予定だったけど、姉〔妹〕がベルリンへ引越したんだ。

女: じゃあドイツへ行くの?

男: いや。彼女は夏に日本へ帰ってくるから、たぶん一緒に韓国かシンガポールへ行くよ。…姉〔妹〕は韓国へ行ったことがあるから、韓国へは行かないかもしれないな。

問 Where will the man probably go this summer? (男性はおそらくこの夏にどこへ行くだろうか。)

- ① France (フランス)
- ② Germany (ドイツ)
- ③ Singapore (シンガポール)
- ④ South Korea (韓国)

男性の最初の発言I was going toは「(パリへ) 行く予定だった (が行かない)」ということ。したがって①のフランスではない。女性の「ドイツへ行くの?」という問いかけに、男性はNoと答えているので②のドイツも除外。続く発言で、「たぶん韓国かシンガポールへ行く」と言ったあと、Maybe not Korea (韓国へは行かないかもしれない) と言っているので③のシンガポールが正解となる。we'll probably go のweは男性とその姉〔妹〕を指す。

語句

◇ my sister's = my sister has

問15 15 ②

スクリプト

M: The test was so hard.

W: Really? I thought it was pretty easy. Mr. Houston told us what the essay question was going to be.

M: That's true. But most of the other questions were about lab experiments we haven't done.

W: We have done all those experiments. You just weren't there.

和訳

男: テストはすごく難しかったね。

女: 本当? 私はとても簡単だと思ったわ。小論文問題に何が出るか、ヒューストン先生が教えてくれたから。

男: そうだね。でも、他の問題のほとんどは僕たちがやっていない実験室での実験に関するものだったよ。

女: その実験は全部やったわよ。あなたがいなかっただけよ。

問 What do the two people agree about? (2人は何について同意しているか。)

- ① The test asked about future experiments. (テストで将来行う実験について問われた。)
- ② The test included a question they knew in advance.
(テストには事前にわかっている問題が含まれていた。)
- ③ The test was difficult. (テストが難しかった。)
- ④ The test was given unexpectedly. (テストが抜き打ちで行われた。)

女性の最初の発言にある「小論文問題で何が出るか、先生が教えてくれた」は、テストには事前にわかっている問題が含まれていたということであり、女性のその発言に対して男性も That's true. と同意していることから、2人が同意しているのは②であると判断できる。①は女性の最後の発言からテストではすでに行った実験について問われたことがわかるので不適切。③は男性のみの意見で女性が同意しておらず不適切。④は問題の一部がわかっていたのだから不適切。

語句

- ◇ pretty 「かなり；とても」
- ◇ essay question 「小論文問題」
- ◇ lab 「実験室；研究室」
- ◇ experiment 「実験」
- ◇ ④ unexpectedly 「思いがけなく；突然に」

問16 16 ②

スクリプト

W: I hear Ichiro has lived in several countries.
 M: Yeah, Australia, Singapore, and...
 W: How about Canada?
 M: No. That's the country where his parents are living now. I'm sure he said he's never been there.
 W: Ah, you're right. Oh, and he said he had lived in Korea before coming to London last month.

和訳

女：イチローはいろんな国に住んだことがあるらしいね。
 男：うん。オーストラリア、シンガポール、それから…
 女：カナダは？
 男：いや、カナダはご両親が今住んでいる国だよ。確か、彼はそこには行ったことがないって言っていたよ。
 女：ああ、そうね。あっ、先月ロンドンに来る前は韓国に住んでいたって言っていたわよ。

問 Which is true about Ichiro according to the conversation?

(会話によると、イチローに関して正しいのはどれか。)

- ① He has been in London for a year. (ロンドンに1年住んでいる。)
- ② He has never been to Canada. (カナダに行ったことはない。)
- ③ He is going to visit Singapore. (シンガポールを訪れる予定だ。)
- ④ His parents live in Japan. (両親は日本に住んでいる。)

男性の2番目の発言に注目する。イチローの両親は現在カナダに住んでおり、イチローはそこへ行ったことはないと言っていたという内容である。there (そこ) はカナダのことだから②が会話の内容と一致する。女性の最後の発言に「先月ロンドンに来る前は」とあるから、ロンドンに1年住んでいるという①とは一致しない。シンガポールは住んだことがある国として挙げられているが、これから訪れる予定だという発言はないので、③も不適當。両親が住んでいるのはカナダで日本ではないから④は不適當。

問17 17 ③

スクリプト

W: Wow, it suddenly began to rain! Do you have a folding umbrella with you?

M: Unfortunately, no.

W: Are there any convenience stores around here?

M: No. But I know this station has a rental umbrella service.

W: Does that mean we can use umbrellas if we pay some money?

M: Exactly. Let's ask that station attendant where it is.

W: OK.

和訳

女: わあ、急に雨が降ってきた! あなたは折りたたみ傘を持っている?

男: あいにく持っていないよ。

女: この辺にコンビニはあるの?

男: いや。でもこの駅には傘のレンタルサービスがあるらしいよ。

女: それって、いくら払えば傘を使うことができるってこと?

男: その通り。あの駅員さんにそれがどこにあるか聞いてみよう。

女: そうね。

問 How will they solve their problem? (彼らはどのように問題を解決するか。)

- ① They will ask the station attendant where they are now. (駅員に自分たちが今どこにいるかたずねるだろう。)
- ② They will buy new umbrellas at the convenience store. (コンビニで新しい傘を買うだろう。)
- ③ They will rent umbrellas at the station. (駅で傘を借りるだろう。)
- ④ They will use the man's folding umbrella. (男性の折りたたみ傘を使うだろう。)

突然、雨が降ってきたが傘を持っていないという場面。男性の2番目の発言に、駅で傘のレンタルサービスがあること、3番目の発言で駅員にその場所をたずねようと提案していることから、2人は傘を借りようと考えていると推測できる。③が適当。駅員にたずねるのは、傘のレンタルサービスの場所であり、自分たちがどこにいるかではないから①は不適当。女性が近くにコンビニがあるかたずねた時に男性は否定しているし、男性がレンタル傘の話をするとう女性はそれに興味を示しているから、コンビニで傘を買う考えはないと思われる。②も不適当。冒頭で女性に折りたたみ傘を持っているか聞かれた男性はnoと答えているから④も不適当。

語句

◇ folding 「折りたたみ式の」

◇ unfortunately 「不運にも; あいにく」

第4問

A

問18~21 18 ① 19 ③ 20 ④ 21 ②

スクリプト

We asked the question, "How do you come to school?" of all the students in our school. You can see the results on this graph. About half of the students come to school by bicycle. The percentage of students who take the train to school is just half that percentage. And the percentage of

和訳

私たちはこの学校の生徒全員に「どうやって学校へ来ますか。」という質問をしました。このグラフでその結果がわかります。約半数の生徒が自転車で登校します。電車で学校へ来る生徒の割合は、その割合のちょうど半分です。バスで学校へ来る生徒の割合は、歩いて登校する生徒とはほぼ同じ割合ですが、

students who take the bus to school is almost the same as that of students who walk to school, but a slightly higher percentage of students come to school on foot.

徒歩で来る生徒の割合がやや高いです。

グラフのタイトルは生徒への質問と同じ「どうやって学校へ来ますか」である。交通手段として、自転車、バス、電車、徒歩、その他が選択肢となっている。About half of the students (約半数の生徒) が自転車と述べられているから、グラフの48%を占める **18** が①である。just half that percentage (その割合のちょうど半分) が電車通学だから、24%の **19** には③が入る。バス通学と徒歩通学の割合はalmost the same (ほぼ同じ) で、徒歩のほうにa slightly higher percentage (割合がやや高い) と述べられているから、**20** が④、**21** が②ということになる。

語句

◇ slightly 「わずかに」

問22～25

22

②

23

⑤

24

②

25

①

スクリプト

We are ordering more clothes for next week. The number of orders will be based on how many pieces were sold this week. If less than 100 pieces were sold this week, we will order 80 for next week. If sales were between 100 and 200, we will order 150. If more than 200 were sold, we will order the number sold plus 50 additional pieces.

和訳

来週のために服をもっと注文します。注文の数は、今週何着売れたかをもとにします。今週売れたのが100着より少なかったら、来週のために80着注文します。売り上げが100着と200着の間なら、150着注文します。200着よりたくさん売れたなら、売れた数に50着を追加して注文します。

Sold This Week (今週の売り上げ) が「100未満」「100と200の間」「200超」かどうかに基づいて来週向けの注文の数が決まる。「200超」の場合だけは、今週の売り上げ数に50を足すという計算が必要になることに注意。**22** と **24** は今週の売り上げが100と200の間だから注文数は150で②。**23** は今週の売り上げが200より多いので注文数は $220 + 50 = 270$ で⑤、**25** は今週の売り上げが100未満だから注文数は80で①となる。

B

問26

26

④

スクリプト

1. Dr. Lee is a neuroscientist, a brain researcher, and her schedule is flexible. She has a strong opinion about this subject from her own experiences. Thanks to technology, she can go to the Internet and read hundreds of books and articles to conduct research. It has changed her life.
2. Mr. Evans works for a company that makes e-books accessible to users. He has just started, so he's still learning, but he believes digitization

和訳

1. リー博士は神経科学者、つまり脳の研究者で、スケジュールは融通が利きます。彼女は、自分の経験から、この話題について強い意見を持っています。テクノロジーのおかげで、彼女は研究を行うために、インターネットを使って何百という本や論文を読むことができます。そのことが彼女の人生を変えました。
2. エバンズさんは、電子書籍をユーザーが利用できるようにする会社に勤めています。彼は仕事を始めたばかりなので、まだ勉強中ですが、デジタル

the future of the book industry. He's available on weekend evenings.

3. Ms. Harris used to own a bookshop, but she had to close it because now people read e-books. She might not know much about technology, but she is confident that she can answer any question about any classic book. She's available anytime during the week.
4. Professor Rogers teaches a class called "the digitization of communication" at university, and e-books are one of the topics he covers. He's been teaching the course for years, and the students learn both the advantages and disadvantages at issue. He can come in Saturday or Sunday mornings.

化が書籍産業の未来であると考えています。彼は週末の晩なら都合がつけます。

3. ハリスさんは以前、書店を経営していましたが、今では人々は電子書籍を読むので、店を閉めなければなりませんでした。彼女はテクノロジーについてはあまり知らないかもしれませんが、どんな古典の本に関するどんな質問にも答えられる自信があります。平日ならいつでも都合がつけます。
4. ロジャーズ教授は大学で「コミュニケーションのデジタル化」という授業を受け持っていて、電子書籍は彼の扱うテーマの1つです。彼はそのコースを何年も教えており、学生たちは問題になっている長所と短所の両方を学びます。彼は土曜日から日曜日の午前中なら来ることができます。

4人の候補者についての説明を聞きながら、「A. 幅広い知識」「B. 中立性」「C. 週末の午前中に時間がある」について表に○×などでメモを書き込んでいくことで、正解を導くことができる。Dr. Leeは「この話題について強い意見を持っている」とあり、続く発言から電子書籍を強く支持していると推測できるのでBが×。Mr. Evansは「まだ勉強中」とあるのでAは×。また「デジタル化が書籍産業の未来であると考えている」とあることから中立とは言えないのでBも×。都合がつくのは「週末の晩」なのでCも×。Ms. Harrisは「テクノロジーについてはあまり知らない」のでAは×。電子書籍の普及で自分の店を閉めたことやテクノロジーに疎いことは述べられているが、Bの立場についてははっきりしない。都合がつくのは「平日」なのでCも×。Professor Rogersは「電子書籍は彼の扱うテーマの1つ」「そのコースを何年も教えている」とあるのでAは○。教えている学生が「長所と短所の両方を学ぶ」とあるので、中立の立場であることがわかる。よってBも○。また「土曜日から日曜日の午前中なら来ることができる」のでCも○。したがって④が正解。

第5問

スクリプト

American workers used to take more vacation time. The average vacation use between 1978 and 2000 was 20.3 days annually. Since then, the number of days taken has gone down, and it hit the bottom in 2014 at 16 days. What do you think of these numbers? Why does it matter?

Let's focus on this from the view point of the number of paid vacation days taken. EU law requires employees to have at least 20 days of paid vacation. In reality, most companies in the EU give 25 days or more. Now, the US is the only developed country in the world that does not

和訳

アメリカ人労働者は以前はもっと休暇を取っていました。1978年から2000年までの間の平均の休暇取得日数は、年間20.3日でした。それ以来、取得日数は減少してしまい、2014年には16日と最低を記録しました。これらの数字についてみなさんはどう思いますか？なぜそれが重要なのでしょうか？

この問題を有給休暇の取得数の観点から見てみましょう。EUの法律では、有給休暇を少なくとも20日取ることを被雇用者に求めています。実際には、EU圏内のほとんどの企業は25日以上（の有給休暇）を与えています。今や、アメリカは被雇用者に有給休暇を与えることを企業に対して法的に求めて

legally require companies to provide paid vacation to their employees. As a result, American workers get only 10 days of paid vacation on average after one year of employment. To make things worse, according to a 2015 survey, Americans on average take only 11 of the 15 paid vacation days they are entitled to, while Europeans take almost all of them.

The problem is not limited to these two regions, of course; without adequate time off, workers' stress levels will increase, and they can feel burned out. Moreover, many studies have found that people are more productive when they return to work from vacation. It's good for employers as well. By keeping their employees well-rested and happy, employers can boost employees' motivation and create a healthy work environment.

The good news is that these days more Americans are using their vacation time. In fact, in recent years, American workers have rated paid vacation as the second most important factor in employment. This means workers are less likely to quit if they are given enough vacation time. More American companies are starting to realize this fact as well as the benefits of paid vacation and changing their vacation policies to stay competitive.

いない世界で唯一の先進国なのです。その結果、アメリカの労働者は雇用後1年の時点で、平均して10日間の有給休暇しかもらえません。さらに悪いことに、2015年の調査によれば、アメリカ人は自分に与えられている15日の有給休暇のうち平均して11日しか取っていません。それに対してヨーロッパ人はほぼ100%取っているのです。

もちろん、問題はこれら2つの地域に限った話ではありません。十分な休みを取らないと、労働者のストレスレベルは上昇し、疲れ果てたと感じかねません。さらに、人々は休暇から仕事に戻ってきた時に生産性が上がるということが、多くの研究で明らかになっています。それはまた雇用主にとってもよいことです。被雇用者をしっかり休ませて幸せにしておくことで、雇用主は被雇用者のモチベーションを上げ、健全な労働環境を作り出すことができるのです。

喜ばしいことに、最近、休暇を取るアメリカ人が増えてきています。実際、近年アメリカの労働者は、有給休暇を雇用において2番目に重要な要素と評価しています。これは、十分な休暇を与えられれば労働者は仕事を辞める可能性が低くなるということを意味しています。この事実を有給休暇の利点とともに認識し始め、競争力を保つために休暇の方針を変更するアメリカの企業が増えつつあります。

ワークシート

○アメリカでの休暇取得日数

1978年～2000年は ____ 日 → 2014年は ____ 日

変化: **27**

○EUとアメリカの有給休暇日数の比較と、休暇日数の増減によって起こる予想される結果

		有給休暇日数: ①より多い または ②より少ない	予想される結果: ③より高い または ④より低い
EU	雇用主から与えられる	アメリカより 28	→ より高い職場のやる気
	被雇用者が取る	アメリカより多い	→ 29 生産性
アメリカ	雇用主から与えられる	EUより 30	→ 31 競争力
	被雇用者が取る	EUより 32	→ 33 ストレスレベル

問27 27 ④

- ① an average increase of more than 4 days (4日を超える平均日数の増加)
- ② an average increase of less than 4 days (4日未満の平均日数の増加)
- ③ an average increase of more than 10 days (10日を超える平均日数の増加)
- ④ an average decrease of more than 4 days (4日を超える平均日数の減少)
- ⑤ an average decrease of less than 4 days (4日未満の平均日数の減少)
- ⑥ an average decrease of more than 10 days (10日を超える平均日数の減少)

アメリカにおける有給休暇取得日数の変化に関する問題。第1段落より、1978年～2000年が平均20.3日で、2014年には16日にまで減少しているとわかるから、 $20.3 - 16 = 4.3$ で、4日を超える減少ということになり④が正解。

問28～33 28 ① 29 ③ 30 ② 31 ④ 32 ② 33 ③

- ① more (より多い) ② fewer (より少ない)
- ③ higher (より高い) ④ lower (より低い)

28 と 30 と 32 はEU諸国とアメリカでの有給休暇日数の比較。第2段落第3文で「EU圏内のほとんどの企業は25日以上(の有給休暇)を与えています(=雇用主から与えられる)」とあり、第2段落第5文で「アメリカの労働者は雇用後1年の時点で、平均して10日間の有給休暇しかもらえません」とある。さらに、第2段落第6文に「アメリカ人は自分に与えられている15日の有給休暇のうち平均して11日しか取っていません。それに対してヨーロッパ人はほぼ100%(=およそ25日以上)取っているのです」とある。このため、雇用主から与えられる日数・被雇用者が取得する日数ともにEU>アメリカであるので、28には①、30には②、32には②が入る。被雇用者が有給休暇をより多く取ることによって予想される結果としては、第3段落第2文に「人々は休暇から仕事に戻ってきた時に生産性が上がるということが、多くの研究で明らかになっています」とあるので29は③。31は第4段落で有給休暇が求職の際に重視される傾向にあることが述べられ、最終文には「競争力を保つために休暇の方針を変更するアメリカの企業が増えつつあります」とあるので、雇用主が与える有給休暇が少ないと競争力は「より低くなる」と言える。よって④が入る。33は第3段落第1文に「十分な休みを取らないと、労働者のストレスレベルは上昇」とあることから③の「より高い」が入る。

問34 34 ③

- ① As Americans get busier, they are taking less and less vacation time.
(アメリカ人は、忙しくなるにつれて、取得する休暇がますます減っている。)
- ② Because European countries work fewer hours, their economies are hurting.
(ヨーロッパの国々では労働時間が減っているので、各国の経済が痛手を受けている。)
- ③ Both employees and employers can benefit from more paid vacation time.
(有給休暇が増えれば、被雇用者も雇用主も恩恵を受けられる。)
- ④ Neither American workers nor employers realize the importance of vacation time.
(アメリカ人の労働者も雇用主も休暇の重要性に気づいていない。)

①アメリカ人が忙しくなっているとは述べられておらず、休暇を取るアメリカ人は増えているので、不適切。②ヨーロッパ各国の経済が痛手を受けているとは述べられていない。③講義は第1段落でアメリカの有給休暇取得日数の現状を述べ、第2段落でEU諸国との比較を述べてから、第3段落以降で有給休暇のメリットについて述べている。第3段落第3文にIt's good for employers as well.とあるように、employer, employeeの双方にとってのメリットが述べられているので③が正解。④労働者については第4段落第2文に「アメリカの労働者は、有給休暇を雇用において2番目に重要な要素と評価しています」とあり、雇用主については「この事実を有給休暇の利点とともに認識し始め、競争力を保つために休暇の方針を変更するアメリカの企業が増えつつあります」とあることから不適切。

語句

- ◇ hit the bottom 「底を打つ：最低を記録する」
- ◇ paid vacation 「有給休暇」(休んでも給料が支払われる休暇)
- ◇ be entitled to ~ 「~を受ける権利〔資格〕がある」
- ◇ burned out 「疲れ果てた：燃え尽きた」
- ◇ rate A as B 「AをBとして評価する」
- ◇ competitive 「競争力のある：他に負けない」

問35

35

④

スクリプト

This graph shows how much it costs to replace an employee who has quit. Direct costs include advertising, interviewing, and training. But what tends to be overlooked is indirect costs, such as manager's time to hire and train new employees as well as lost knowledge and lost productivity in the organization.

和訳

このグラフは、退職した被雇用者1人の代わりを見つけるのにどれだけお金がかかるかを示しています。直接的な費用には、広告、面接、訓練が含まれます。しかし、見過ごされがちなのは間接的な費用で、それは例えば、新しい被雇用者を雇って訓練するために管理者が使う時間や、組織内で失われた知識と生産性といったものです。

- ① Entry-level employees are unlikely to quit even if they don't get paid vacation time.
(入社間もない被雇用者は、有給休暇が与えられなくても会社を辞める可能性が低い。)
- ② High-level employees do not need as much paid vacation time as entry-level employees.
(上級レベルの被雇用者は、入社間もない被雇用者ほど有給休暇を必要としない。)
- ③ Indirect costs are hard to calculate and are a small portion of replacement costs.
(間接的な費用は算出するのが困難で、人員交替にかかる費用のわずかな部分である。)
- ④ Providing more paid vacation time will help employers save money.
(もっと多くの有給休暇を与えれば、雇用主がお金を節約する助けになる。)

講義では有給休暇を多く与えることで被雇用者は仕事を辞める可能性が低くなると述べられていて、入社間もない被雇用者が例外だとは述べられていないので、①は講義の内容と合わない。上級レベルの被雇用者と入社間もない被雇用者のどちらの方が有給休暇を必要とするかという比較はされていないので②も不適切。間接的な費用は算出されてグラフに示されており、しかもどのレベルでも交替にかかる費用全体の半分以上を占めているので、③も不適切。講義から有給休暇を与えれば社員が辞める可能性が減ること、グラフから人員交替に多額の費用がかかることがわかる。まとめると「有給休暇を与えることで社員が辞めなければ人員交替にかかる費用を節約することができる」といえるので、正解は④。

語句

- ◇ replace 「～の代わり〔後任〕を見つける」
 ◇ overlook 「～を見過ごす〔見落とす〕」
 ◇ lost knowledge 「失われた知識」(ここでは辞めた社員が持っていた知識のこと)

第6問

A

スクリプト

Ben : Who's that doll for, Sarah?
 Sarah : It's for my neighbor's son, Takeshi.
 Tomorrow's his birthday. Do you have an
 issue, Ben?
 Ben : Well, wouldn't he want something designed
 for boys?
 Sarah : Who says boys can't play with dolls? They
 teach them to be gentle. Gender-specific toys
 only reinforce gender stereotypes.
 Ben : I get that. But kids know their gender at an
 early age, and they naturally prefer certain
 toys. When I was a kid, I wanted to play with
 my action figures and water guns.
 Sarah : Sure. But gender is not entirely
 determined by nature. When kids are only
 exposed to gender-specific toys, they come to
 believe that's what they're supposed to like.
 Ben : So you're saying gender identity is formed
 by society.

和訳

ベン：その人形は誰にあげるの、サラ？
 サラ：お隣の息子さんのタケシにあげるの。明日が
 誕生日なのよ。何か気になることがあるの、ベ
 ン？
 ベン：ええと、彼は男の子向けにデザインされたも
 のを欲しがらないかな？
 サラ：男の子は人形で遊べないなんて誰が言うの？
 優しくなりなさいってみんな男の子に言うでしょ。
 特定のジェンダー向けのおもちゃは、ジェンダー
 の固定観念を強化するだけよ。
 ベン：それはわかる。でも子供たちは早い年齢から
 自分のジェンダーを知っていて、ある種のおも
 ちゃを自然と好むんだ。僕は子供の頃、アクション
 ヒーローの人形や水鉄砲で遊びたいと思って
 いたよ。
 サラ：そうね。でもジェンダーは生まれつきで完全
 に決まるわけではないわ。子供は、特定のジェ
 ンダー向けのおもちゃばかりに触れていると、
 それを好まなきゃいけないんだって思うように
 なるの。
 ベン：つまり君は、ジェンダーに関するアイデンティ
 ティーは社会によって形作られると言っている
 んだね。

問36 36 ①

問 What is Sarah's main point? (サラの発言の要点は何か。)

- ① Gender-specific toys are harmful to child development.
 (特定のジェンダー向けのおもちゃは子供の発達にとって有害である。)
- ② Gender-specific toys do not represent the modern world.
 (特定のジェンダー向けのおもちゃは現代の世界を描写していない。)
- ③ Gender-specific toys encourage a wide range of play.
 (特定のジェンダー向けのおもちゃは広範囲の遊び方を促す。)
- ④ Gender-specific toys promote gender equality in society.
 (特定のジェンダー向けのおもちゃは社会におけるジェンダーの平等性を推し進める。)

サラは2番目の発言の第3文で「特定のジェンダー向けのおもちゃは、ジェンダーの固定観念を強化する」、3番目の発言の第3文で「子供は、特定のジェンダー向けのおもちゃばかりに触れていると、それを好まなきゃいけないんだって思うようになる」と言っており、これらの発言から、特定のジェンダー向けのおもちゃが子供によい影響を与えないと考えていることがわかる。したがって正解は①。②、③は英文中に言及なし。④の「ジェンダーの平等性」についてはサラの意見とは無関係。

問37 37 ①

問 What is Ben's main point? (ベンの発言の要点は何か。)

- ① Children enjoy playing with toys designed for their gender.
(子供たちは自分のジェンダー向けにデザインされたおもちゃで遊んで楽しむ。)
- ② It's difficult to encourage boys and girls to play together.
(男の子と女の子を一緒に遊ぶように促すのは難しい。)
- ③ It's not right to teach children their gender identity.
(子供たちにジェンダーに関するアイデンティティを教えるのは正しいことではない。)
- ④ Society plays a role in reinforcing gender stereotypes.
(社会は、ジェンダーの固定観念を強化する役割を果たしている。)

ベン、タケシが「男の子向けにデザインされたもの」を欲しがると考えており、3番目の発言では「子供たちは早い年齢から自分のジェンダーを知っていて、ある種のおもちゃを自然と好む」と言っていることから、①が正解。ベンの2番目の発言の something designed for boys が toys designed for their gender と言い換えられていることに注目。②、③については英文中に言及なし。④はベンがサラの意見を確認して言った内容であり、ベンの意見ではない。

語句

- ◇ They teach them: 主語の They は「一般的な人々」、目的語の them は男の子たちを指す。
- ◇ not entirely ... 「完全に…なわけではない」(部分否定)
- ◇ be exposed to ~ 「～にさらされる；～に触れる」
- ◇ come to do 「…するようになる」

B

スクリプト

Moderator: Thank you, Professor Kelly. So you said gender-neutral toys are more beneficial for children.

Professor Kelly: That's right. Toys that are considered gender-neutral are likely to be more educational and help children with skills that are important for future success. Also, dividing toys by gender doesn't reflect modern society.

Moderator: I see. Let's take some questions from the audience. Would you like to start, miss?

和訳

司会：ありがとうございました、ケリー教授。つまり、特定のジェンダー向けでないおもちゃの方が子供たちにとって有益だとおっしゃるんですね。

ケリー教授：その通りです。特定のジェンダー向けでないといみなされるおもちゃの方が教育的な可能性が高く、子供たちが将来の成功のために重要なスキルを身につけるのに役立ちます。また、ジェンダーによっておもちゃを分けるのは、現代社会を反映していません。

司会：わかりました。ご来場の皆さんから少し質問をお聞きしましょう。そちらの女性、最初にかがですか？

Melanie : Sure. I'm Melanie. I actually like to get my nieces girl toys like dolls, hair accessories, and princess stuff ... because it's a way to celebrate being a girl. I want them to be proud of their gender.

Professor Kelly : I understand. But dressing up and looking attractive isn't the only aspect of being a girl. Girls can be smart, strong, and bold. In fact, providing them with only feminine toys can be harmful for their development.

Melanie : Could you explain?

Professor Kelly : Of course. By exposing young girls to strongly gender-specific toys, we might end up sending them a message that appearance is the most important thing.

Moderator : Thank you, professor. How about you, in the green jacket?

Jeremy : Hi, I'm Jeremy. I'm a marketing major. I think stores play a big role in promoting gender stereotypes.

Moderator : In what way?

Jeremy : Well, when you go to a toy store, you see action figures and toy weapons displayed on blue shelves, and dolls and kitchen sets on pink. If that's not stereotypical, what is?

Professor Kelly : You're absolutely right, Jeremy. The good news is some of the big stores are starting to use non-gender labels to categorize toys instead of the traditional boys versus girls.

Moderator : The change is happening. Let's get [starts to fade out] one more question.

メラニー：はい。私はメラニーです。実は私は、姪たちに女の子向けのおもちゃを買ってあげたいんです。人形、髪飾り、お姫様っぽいもの…それが、女の子であることを祝福する方法だからです。私は彼女たちに自分のジェンダーを誇りに思ってもらいたいです。

ケリー教授：わかります。でも、着飾って魅力的な容姿になることが、女の子であることの唯一の側面ではありません。女の子だって、賢く、強く、勇敢になれるのです。実際、女性的なおもちゃばかりを与えるのは、女の子の発達にとって有害になりかねません。

メラニー：どういうことかご説明いただけますか？

ケリー教授：もちろんです。特定のジェンダーに強く向けられたおもちゃに幼い女の子に触れさせることで、私たちは彼女たちに、外見が最も重要なものだというメッセージを送ることになるかもしれないのです。

司会：ありがとうございました、教授。グリーンのジャケットを着たあなた、いかがでしょうか？

ジェレミー：こんにちは、私はジェレミーです。マーケティング専攻の学生です。ジェンダーの固定観念を強めることには、小売店が大きな役割を果たしていると思います。

司会：どんなふうに？

ジェレミー：ええと、おもちゃ店へ行くと、アクションヒーローの人形やおもちゃの武器が青い棚に陳列されており、人形やままごとセットがピンクの棚に陳列されているのが目に入ります。それが固定観念的でないとしたら、何が固定観念的と言えるのでしょうか？

ケリー教授：あなたはまったく正しいですね、ジェレミー。喜ばしいことに、おもちゃを分類するために、従来の男の子対女の子（の分け方）ではなく非ジェンダー的な表示を用い始めている大きな店もいくつかあるのです。

司会：変化が起きているのですね。もう1つ質問をお受けしましょう。[音声が入力アウトを始める]

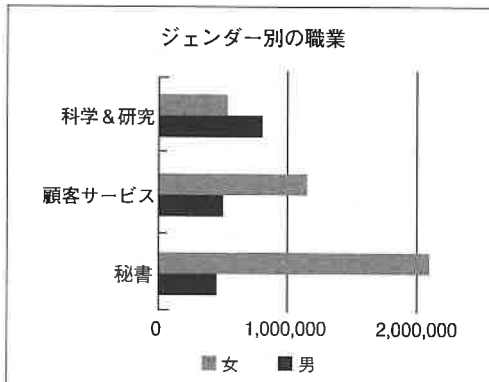
問38 38 ②

ジェレミーは、おもちゃ店の陳列がジェンダーの固定観念を強化していると述べ、ジェンダーを区別しておもちゃを販売することに反対している。一方、メラニーは「姪たちに女の子向けのおもちゃを

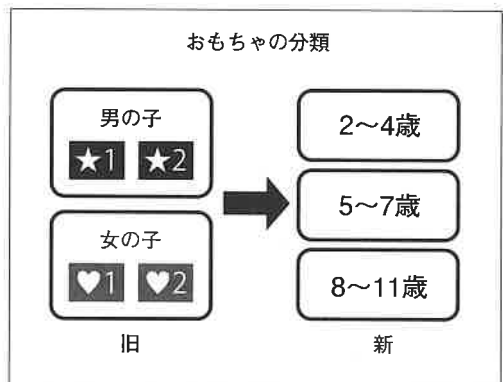
買ってあげたい」「彼女たちに自分のジェンダーを誇りに思ってもらいたい」と言っていることから、ジェンダーでおもちゃを区別してもよいという立場であると考えられる。司会は中立的な発言に徹している。ケリー教授は、冒頭の司会者とのやりとりで特定のジェンダー向けでないおもちゃの方が子供たちにとって有益だということがわかるので、ジェンダーでおもちゃを区別するべきではないという立場であると考えられる。つまり、音声が終わった時点では、否定的な立場なのはジェレミーとケリー教授の2人である。したがって、②が正解である。

問39 39 ②

①



②



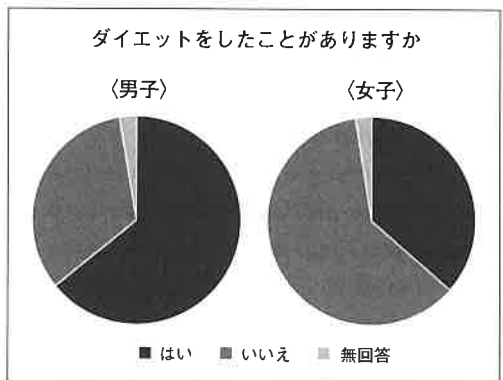
③

よく売れている特定のジェンダー向けでないおもちゃの種類

1	アウトドア & スポーツ玩具	\$3.71
2	ブロック & 建築物セット	\$1.98
3	ゲーム & パズル	\$1.94
4	美術 & 工芸	\$0.97
5	楽器	\$0.54

売上単位：10億

④



①は職業における男女別の割合を示すグラフだが、ケリー教授の意見とは関係ない。②はケリー教授が最後に述べている「従来の男の子対女の子ではなく非ジェンダー的な表示」の具体例となっているので、これが正解。③はケリー教授も言及している特定のジェンダー向けでないおもちゃに関する図であるが、どのような種類が売れているかといった話題は出ていない。④は議論の内容とはまったく無関係。

語句

◇ stuff 「(漠然と) もの」

◇ bold 「大胆な：勇気のある」

◇ end up doing 「最終的に…することになる」